

II. 日本文理大学の沿革と現況

1. 本学の沿革

本学の創立については、Iにおいてすでに述べたが、その後の学部・学科構成の改変を含め、以下の表II-1、II-2に示す。

表II-1 本学の沿革

昭和 42(1967)年 1 月	学校法人佐伯学園に大分工業大学工学部（機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科）設置認可
昭和 42(1967)年 4 月	大分工業大学開学
昭和 43(1968)年 4 月	経営工学科・工業化学科を増設
昭和 45(1970)年 4 月	第 2 代学長に菅幸雄理事長が就任
昭和 46(1971)年 4 月	図書館（鉄筋コンクリート 4 階建）開館
昭和 46(1971)年 6 月	環境科学研究所設置
昭和 49(1974)年 4 月	航空工学科を増設
昭和 50(1975)年 4 月	船舶工学科を増設
昭和 53(1978)年 11 月	同窓会「一木会」設置
昭和 55(1980)年 3 月	台湾・東方工業専科学校（現・東方技術学院）と提携協定
昭和 57(1982)年 4 月	商経学部を設置し、大分工業大学を日本文理大学と改称、法人名も学校法人日本文理大学と改称
昭和 62(1987)年 1 月	海洋工学実験場を設置
昭和 62(1987)年 4 月	太平洋地域研究所設置
昭和 63(1988)年 2 月	菅記念講堂完成
平成 3(1991)年 4 月	法人名を学校法人文理学園と改称
平成 3(1991)年 10 月	NBU 情報センター完成
平成 4(1992)年 4 月	別科日本語課程設置 NBU メディアセンター設置
平成 4(1992)年 12 月	ファクトリー・オートメーション実験工場「エンジニアリング・リサーチセンター」(ERC) 完成
平成 5(1993)年 5 月	アメリカ・ラグランジェ大学と提携協定
平成 8(1996)年 11 月	韓国・安養専門大学（現・安養科学大学）と提携協定
平成 8(1996)年 12 月	韓国・漢永工業専門大学（現・漢永大学）と提携協定
平成 9(1997)年 2 月	韓国・慶州大学校、慶州専門大学（現・徐羅伐大学）と提携協定 韓国・蓮庵工業専門大学と提携協定
平成 11(1999)年 5 月	中国・北方工業大学と提携協定
平成 13(2001)年 9 月	韓国・群長大学と提携協定
平成 14(2002)年 4 月	工学部を改組（機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科、工業化学科、航空工学科をそれぞれ知能機械システム工学科、電気・電子工学科、建設都市工学科、建築デザイン学科、環境マテリアル学科、航空宇宙工学科と名称変更、また情報メディア学科を設置）
平成 14(2002)年 5 月	韓国・京畿工業大学と提携協定

平成 14(2002)年 10 月 平成 15(2003)年 4 月	中国・上海金融高等専科学校（現・上海金融学院）と提携協定 商経学部を経営経済学部経営経済学科に改組
平成 15(2003)年 5 月 平成 15(2003)年 6 月	大学院工学研究科航空電子機械工学専攻修士課程を設置 菅幸雄理事長「勲三等旭日中授章」受賞 硬式野球部が「第 52 回全日本大学野球選手権大会」優勝
平成 15(2003)年 10 月 平成 16(2004)年 4 月 平成 16(2004)年 6 月	大分県豊後大野市大野町に航空宇宙工学科県央空港キャンパス竣工 大学院工学研究科環境情報学専攻修士課程設置 柔道部（女子）が「全日本女子学生柔道優勝大会 3 人制」優勝 サッカー部が「第 28 回九州大学サッカー選手権大会」優勝
平成 16(2004)年 10 月 平成 17(2005)年 3 月 平成 17(2005)年 8 月 平成 17(2005)年 9 月	中国・中南民族大学と提携協定 韓国・蔚山大学校と提携協定 中国・寧波工程大学と提携協定 チアリーディング部「JAPAN CUP 2005」優勝 以後、現在まで全国大会 9 連勝（国際大会を含む）の記録更新中
平成 18(2006)年 3 月 平成 18(2006)年	NBU マイクロ流体技術研究所完成 韓国・蔚山科学大学と提携協定
平成 18(2006)年 10 月 平成 19(2007)年 3 月 平成 19(2007)年 4 月 平成 20(2008)年 4 月	陸上競技部「出雲全日本大学選抜駅伝競争」初出場 中国・青島濱海学院と提携協定 建築デザイン学科と建設都市工学科を改組、建築学科を設置 知能機械システム工学科と電気・電子工学科を改組、機械電気工学科を設置

2. 本学の現況

- ・大学名 日本文理大学
- ・所在地 大分県大分市大字一木 1727 番地 162

- ・学部・大学院の構成

表Ⅱ-3 学部・大学院(修士)の構成

	学部・研究科	学科・専攻名
学部	工学部	機械電気工学科 建築学科 航空宇宙工学科 情報メディア学科
	経営経済学部	経営経済学科
研究科	工学研究科	航空電子機械工学専攻 環境情報学専攻

・学部及び大学院の学生数

表Ⅱ-4 学部・学科の学生定員及在籍学生数 (人)

学部	学科	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計	収容定員
工学部	機械電気工学科	60	53	—	—	—	53	60
	建築学科	60	46	55	—	—	101	120
	知能機械システム工学科	—	4	32	41	28	105	145
	電気・電子工学科	—	—	20	25	31	76	145
	建設都市工学科	—	—	—	11	24	35	105
	建築デザイン学科	—	—	—	39	46	85	170
	環境マテリアル学科	—	—	—	10	16	26	105
	航空宇宙工学科	80	82	69	60	54	265	350
	情報メディア学科	100	77	72	71	68	288	430
	電気工学科	—	—	—	—	1	1	—
工学部 計		300	262	248	257	268	1,035	1,630
経営経済学部	経営経済学科	300	312	236	232	270	1,050	1,200
商経学部	商学科	—	—	—	—	2	2	—
経営経済学部及び商経学部 計		300	312	236	232	272	1,052	1,200
大学 合計		600	574	484	489	540	2,087	2,830

表Ⅱ-5 大学院の学生定員及在籍学生数 (人)

研究科	専攻	入学定員	1年次	2年次	計	収容定員
工学研究科	航空電子機械工学専攻	8	3	6	9	16
	環境情報学専攻	8	7	7	14	16
工学研究科 合計		16	10	13	23	32

・教員数

表Ⅱ-6 専任教員数 (人)

工学部	54
経営経済学部	33
計	87
別科日本語課程	5
合計	92

表Ⅱ-7 非常勤教員数 (人)

工学部	18
経営経済学部	33
計	51

・職員数

表Ⅱ-8 大学の職員数 (人)

専任	64
その他(嘱託、派遣等)	27
合計	91

表Ⅱ-2 学科構成の改変

